

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会

WG4 力学特性(仮称;変形・強度) 岩石試験グループ 第3回 議事録(案)

日時	平成 20 年 2 月 20 日(水) 14:00 ~ 17:00		場所	地盤工学会会議室	
幹事	畠山正則		幹事	上原真一	
メンバー	岡田哲実	×	メンバー	小泉和広	
メンバー	高橋 学		メンバー	早野公敏	

:出席 ×:欠席

配布資料:

資料1:岩石の三軸試験方法解説原稿

資料2:岩石の三軸試験方法の解説部分目次抜粋(A3版)

資料3:資料1の補足資料(まえがき)

資料4:資料1の補足資料(試験用具、供試体の作製と測定)

資料5:資料1の補足資料(試験結果の整理、報告事項)

資料6:WG4担当部分(せん断)の目次案

各自作成した担当箇所についての説明・審議・検討事項

畠山委員担当箇所:まえがき

<説明事項>

- ・ 目的の項目を新しく入れる
- ・ 経緯,位置づけに関しては,基本的に各試験方法毎に違いはなく,特に困難なし
- ・ “H14年版を手本にした”ということをも明記するように見直す

<審議・検討事項>

- ・ 単なる「目的」というタイトルでよいか?もう少し具体的にしよう検討

早野委員担当箇所:総則

<説明事項>

- ・ 軟岩と硬岩の定義が,UUとCU,CUバーで異なる(CU,CUバーはISOに準拠):とりあえず早野案ではCU,CUバーにあわせてある
- ・ 対象について:UUは軟硬,CU,CUバーは軟岩,CDは軟硬;個々ではよいが,まとめると論理の流れが苦しくなる
- ・ 軟岩,硬岩それぞれに関する記載を,それぞれ a)有効応力の概念, b)力学特性と分けて記載

- ・ 今後，軟岩硬岩の力学特性に関する最近の知見を追加する
- ・ 最近の知見を追加する場合は，10.5.8「結果の工学的利用」とかぶらないように注意する

< 審議・検討事項 >

- ・ CDの硬岩は意味があるか？：削ればだいぶ少なくなるのだが，とりあえずはこのままにしておく
- ・ 研究状況はここでなく，うしろに持ってきたほうがいいのでは？

小泉委員担当箇所：試験用具，供試体の作製と測定

< 説明事項 >

- ・ 現状の解説の対比を元に，UUを基本ベースとして，CU, CUバー，CDのみにあるものを合わせるという方針．
- ・ 全体的にほぼ同じような内容が網羅されている
- ・ 3.2.1に(11)として多孔板の項目を追加
- ・ 「含水比」の測定：“炭化…約60”はいらないのでは？

< 審議・検討事項 >

- ・ 3.3.3：他の項目に比べてトーンが違い，場違い感がある 「報告事項」に持ってきてはいいのでは？

岡田委員担当箇所：供試体の設置と飽和，試験方法（代理説明：畠山委員）

< 説明事項 >

- ・ 10.6.4 供試体の設置と飽和は、10.6.4 供試体の設置、10.6.5 供試体の飽和として分ける案を提示
- ・ 現状の解説部分について，“重要度を設定”して分類
- ・ 重要度の低いランク1に分類した部分は、削除したい。

< 審議・検討事項 >

- ・ 設置と飽和を分けたほうがいいのでは：設置はすべてにかかわるが，飽和はすべてにかかわるわけではないので
- ・ 重要度の低いランク1は削除。
- ・ 重要度の低いランク2は必要性和、利用頻度を考慮して判断。（ほとんど実施されていないような操作は削除する方針）
- ・ UU3.4.3：下線部；これだけの記述ではよくわからないので，カットする方向
- ・ CD3.4.1：「手順」であるので，解説としては必要ないのでは。（内容をもっと明確に？すれば残してもよいのでは）
- ・ CD3.4.2(4)：わかりやすいほうを使ってもらおう。
- ・ CD3.4.2(5)：硬岩の飽和に関する記述；一般的か疑問。過大では？残すのであれば，「こ

ういうのがある」という書き方；9 ページのパラグラフを 8 ページのものの前に持ってくる方法が考えられる。

- UU3.5.2.2：載荷速度；別のところで記述されているので不要
- UU3.5.2.1 後半部分，UU3.5.2.3，CD3.5.3，CD3.5.4(2)：「結果の整理 or 報告事項」へ
- UU3.5.2.4.：ランク 1、2 について；削除するかもしくは簡単に触れる程度。それよりも，応力制御，歪制御による違いを示したほうが有益では
- CD3.5.1(2)，(3)：文献引用のみ

上原委員担当箇所：結果の整理，報告事項

< 説明事項 >

- 重複部分を考慮して整理；ページ数がだいぶ多くなる
- 現状 CD の報告事項に，詳しい記述；削除を検討？

< 審議・検討事項 >

- ごちゃごちゃした部分は，基準の解説という視点で見直す
- 削除項目候補についてもとりあえずまとめておく；後に全体のページ数を調整する際に検討
- 他の章節からの移動事項についてもまとめる

高橋委員担当箇所：結果の工学的理由，基準以外の試験方法

< 説明事項 >

- 基本的に削っておらず：この部分の，各項目は落とせないのではないかと
- 強いてあげれば，
 - 多段階試験の重複部分
 - 各項目について，文献を引用するにとどめることによってダイエットできる可能性あり

< 審議・検討事項 >

- 他の項目からの移動：歪制御と応力制御の工学的意味

全体を通して

< 今後の予定 >

- 本日の議論を踏まえて，各自担当箇所の作業を進める
- 絵つきのファイルを送る（畠山幹事より各自へ） ページ数確定（評価）のため，絵をはめ込んだもの（2 段組のもの）を用意
- 締切：3 月半ばをめどに
- 圧裂，一軸に関しては，基本的にこのまま；幹事で検討，議論する必要があるメン

バーに審議を仰ぐ

- ・ 全体を通して：“岩石”と“岩”のどちらを通称とすべきか？

以上

(作成：上原)